

Social Workers

社大OB・OGがつむぐ福祉の絆

ソーシャルワーカーズ

2010年
12月
Vol.3

使命を果たす。
ソーシャルワーカーとしての
心に寄り添う介護。



4人に1人が65歳以上と、
現在の日本は、「超高齢社会」に突入しています。
元気で健康なお年寄りがいらっしゃる一方で、
介護を必要とされる人が多いのも事実です。
今回は、高齢者介護の現場を訪ね、
ふたりの女性エキスパートに
お話を伺いました。

今回のソーシャルワーカーは



柴 里美さん

セコムケアステーション鎌倉 訪問介護員
[社会福祉学部・福祉援助学科 2005年3月卒業]



山崎ハコネさん

社会福祉法人「からし種の会」理事長
[社会福祉学部・児童福祉学科 1982年3月卒業]



- ①山崎ハコネさんが理事長を務める「からし種の家」でのレクリエーションのひとコマ。みんなが集まって、ゆったりと楽しい時を過ごします。
- ②介護の仕事の大きな魅力は、お世話する方々の笑顔に直接ふれられる瞬間があるということ。緑あふれる自然の中、心地良い風に思わず顔がほころびます。

住み慣れた地域で、その人らしく最期まで

人がその人らしく生きていくために。
考え、悩み、たどり着いた

福祉の原点
山崎ハコネさん

(社会福祉法人「からし種の会」理事長)



[やまざき・はこね] 1957年生まれ。1982年3月、児童福祉学科卒業。社会福祉士、准看護師。現在、敬和学園大学准教授。「福祉とは広く日常生活にあるものであって、人が人らしく生きていく中で、必要なサービスや資源を繋げていくことにばかりなりません。支援を待つ人たちが必要とするサービスとは何かを探し続けることで道は広がり、その人と一緒に成長していくことができます」と、ソーシャルワークの真髄を語ってくれました。



山崎ハコネさんのあゆみ

- 1982年 日本社会事業大学卒業(3月)
東京神学大学3年次編入学(4月)
- 1987年 東京神学大学大学院 神学研究科・前期課程修了(3月、神学修士)、日本基督教団担任教師(4月)
- 1990年 日本基督教団「越谷教会」副牧師[正教師](3月)
- 1991年 「ターミナルケア勉強会」を発足(6月)
- 1995年 越谷教会退職(1月)、社会福祉法人「シャーローム」が運営するケアハウス「希望の園」(新潟市)施設長(2月)
- 1998年 任意団体「からし種の家」創設(4月)
- 2001年 新潟グループホーム協議会理事(4月)
- 2002年 社会福祉法人「からし種の会」設立(8月)
- 2003年 任意団体旧・からし種の家を「マナの家」に名称変更(4月)
介護保険指定事業所・高齢者グループホーム「からし種の家」開設(4月)
- 2005年 敬和学園大学〈新発田市〉共生社会学科専任講師(4月)
『新潟日報新聞』特別編集委員(6月)
- 2006年 新潟市地域・在宅介護研究会委員(9月)
- 2008年 日本社会事業大学大学院 前期課程修了(3月、社会福祉学修士)
- 2010年 第13回 新潟県弁護士会人権賞受賞(2月)
- 2011年 新「マナの家」オープン(4月予定)

専門性を備えるために資格を取得した一人の利用者からのスタート

その後、埼玉県内の教会で5年間を過ごした山崎さんのもとに、ある日、新潟で教会が新しく設立したケアハウスの施設長就任の打診が舞い込みました。教会の活動の中で、家族と教会による安らかな看取りを体験してきた山崎さんは、「高齢者が安心して暮りやすい」とのできる新しい施設に力を尽くそうと決意

し種の家」と、公益事業・自主事業である「マナの家」を経営する山崎ハコネさんは、日本社会事業大学の門を二度くぐりました。一度目は山崎さんが20歳の時、二度目は48歳の時、いずれも高齢者を取り巻く社会福祉の課題にまっすぐに向き合っためでした。

日本社会事業大学社会福祉学部に入學する前、山崎さんは准看護師として栃木県の病院で働いていました。医療技術が発達して、既に結核は不治の病ではなくなりましたが、当時配属された結核病棟の実態に山崎さんは少なからぬショックを受けたといいます。

「面会が驚くほど少ない」とや周囲の人々の理解がないこと、退院をめぐって本人や家族が大きな不安や戸惑いを感じじるなど、治すだけの医療に限界を感じました」

そのような辛苦しい病棟を明るくしようと山崎さんは腹話術を習いボランティア活動に取り組みました。病院だけ

そんな山崎さんに次の転機が訪れたのは、大学一年生の夏休み。末期癌の重症病棟で准看護師の資格を活かしてア

基盤となつた医療職としての視点
初心通りたどり着いた福祉の世界
新潟県で高齢者グループホーム「からし種の会」を経営する山崎ハコネさんは、日本社会事業大学の門を二度くぐりました。一度目は山崎さんが20歳の時、二度目は48歳の時、いずれも高齢者を取り巻く社会福祉の課題にまっすぐに向き合つためでした。



たくさんのお年寄りの自己実現の場として着実な活動を続ける「からし種の家」。山崎さんのライフワークです。

新潟県で高齢者グループホーム「からし種の会」を経営する山崎ハコネさんは、日本社会事業大学の門を二度くぐりました。一度目は山崎さんが20歳の時、二度目は48歳の時、いずれも高齢者を取り巻く社会福祉の課題にまっすぐに向き合つためでした。

山崎さんは日本社会事業大学に進学。入学後は人形劇サークル・児童文化部に所属し、得意の腹話術を活かして活動の幅を広げています。

「そもそも最初に福祉の職業を意識したのは小学校高学年年の頃。テレビ放映されていたタイガースマスクの中で描かれていた児童養護施設の職員の献身的な姿に憧れたからでした」

「そこでは、人間の死といつものが日常的な光景となっていました」
ある日の朝、「私が死んだら誰が恵子のことをしてくれるのか」と言つた患者さんの前を、山崎さんは「大丈夫よ」と言つて逃げ出しました。
「いつかは逃げない人間になりたい」と、そう決意した山崎さんの関心は人間の生と死の問題に向かつていきました。

山崎さんは日本社会事業大学に進学。入学後は人形劇サークル・児童文化部に所属し、得意の腹話術を活かして活動の幅を広げています。

「福の世界で生きる私という人間の基礎は、そうした大学時代に育まれていつたのだと思います」

日本社会事業大学卒業後は、他の大学院で神学を学び、いつたんは福祉活動やホスピスに距離を置いた山崎さんでしたが、その後京都内の教会に入職。再び高齢者の福祉やターミナルケアと向き合つこととなりました。

日本社会事業大学卒業後は、他の大学院で神学を学び、いつたんは福祉活動やホスピスに距離を置いた山崎さんでしたが、その後京都内の教会に入職。再び高齢者の福祉やターミナルケアと向き合つこととなりました。

「そこでは、人間の死といつものが日常的な光景となっていました」
ある日の朝、「私が死んだら誰が恵子のことをてくれるのか」と言つた患者さんの前を、山崎さんは「大丈夫よ」と言つて逃げ出しました。
「いつかは逃げない人間になりたい」と、そう決意した山崎さんの関心は人間の生と死の問題に向かつていきました。

一人ひとりの心に寄り添う介護を目指す

利用者のみなさんが 主役になれる毎日を支えたい。

柴 里美さん

(セコムケアステーション鎌倉 介護福祉士)

【しば・さとみ】1983年生まれ。2005年3月、福祉援助学科卒業。社会福祉士、介護福祉士。高校生には「福祉分野の専門職の場合は特に、『この仕事に就きたい!』という強い思いが継続の原動力となります。それを見つけるためには、ボランティアに参加すると、具体的な仕事のイメージをつかみやすいと思います」と、経験者ならではのメッセージを送ってくれました。

分野を網羅した勉強ができることが分
かると、得られる資格はもちろん、福祉

4月、柴さんは同大学に進学します。
「日本社会事業大学のことを調べてみ
ると、柴さんは、忙しくも充実した日々
を送っています。



友人の不登校から福祉に興味 多くの経験ができた大学時代

訪問介護の仕事を就いてから20年、
セコムケアステーション鎌倉で働く
柴里美さんは、忙しくも充実した日々

を送っています。

「高齢者がいらっしゃる個人宅を、一
日に4軒から7軒前後訪問して、入浴
や着替え、排泄介助などの身体的介護
と、お掃除や洗濯、一般的な調理といつ
た生活援助のお手伝いをするのが私の
主な仕事です」

柴さんが福祉の道を目指したのは、
中学時代、不登校に悩む友人の力にな
りたいと思ったのがきっかけでした。高
校生になつてもその気持ちを持ち続け
ていた柴さんに、担任の先生が、「福
祉の専門家としてしっかりと育ててく
れる大学がある」と薦めてくれたのが
日本社会事業大学でした。2001年

4月、柴さんは同大学に進学します。
「日本社会事業大学のことを調べてみ
ると、柴さんは、忙しくも充実した日々
を送っています。

かりました。実際、在学時代はソーシャルワーカーに加えて介護福祉コースに在籍し、ケアワーカーを学ぶことができました。手話やボランティアのサークル活動にも取り組むことができました。福祉の専門家としての基礎は大学時代に培ったと語る柴さんは、少人数の技術演習や実習授業が有意義だったといいます。特に、実際の施設での経験は貴重で、特別養護老人ホームでの実習がきっかけとなり、グリーブホームで働きたいという思いが強まりました。「実習では、一人の利用者さんにケアアフレンと援助を行いますが、私が担当したのは認知症がかなり進行している方でした。最初は人間関係を築くのが大変でしたが、毎日の生活の中で、段々と私のことを認識してくれるようになります。それがとても嬉しかったです」

利用者のみなさん一人ひとりと 深く丁寧に関わりたい

卒業後は、認知症の方と丁寧に関わ
れる小規模施設で働くこと決めた柴さ
んは、グループホームを中心に就職活
動を行いました。生まれ故郷・新潟の
「からし種の家」を選んだのは、グル
ープホームだけの小さな施設で、全体に
あふれている「温かなお家の雰囲気」
に大変感動したからだといいます。

2005年4月、柴さんはこのホ
ームに就職、偶然にも理事長は、日本社
会事業大学の大先輩である山崎ハコネ
さんで、後輩の入職をとても喜んでく
ださいました。

「利用者さんと深く関わるのがグ
ループホームの良いところで、夜勤の排
泄介助の後など、逆に利用者さんが『少

しは休みなさい』と、心配してくれます」とあります。柴さんは転居を機に現職へ
で働きたいという思いが強まりました。最初は人間関係を築くのが大変でしたが、毎日の生活の中で、段々と私のことを認識してくれるようになります。それがとても嬉しかったです」

その後、柴さんは転居を機に現職へで働きたいという思いが強まりました。最初は人間関係を築くのが大変でしたが、毎日の生活の中で、段々と私のことを認識してくれるようになります。それがとても嬉しかったです」

心に寄り添つて生きる知識と技術 目指すのは利用者が主役の介護

その後、柴さんは転居を機に現職へで働きたいという思いが強まりました。最初は人間関係を築くのが大変でしたが、毎日の生活の中で、段々と私のことを認識してくれるようになります。それがとても嬉しかったです」

その後、柴さんは転居を機に現職へで働きたいという思いが強まりました。最初は人間関係を築くのが大変でしたが、毎日の生活の中で、段々と私のことを認識してくれるようになります。それがとても嬉しかったです」

その後、柴さんは転居を機に現職へで働きたいという思いが強まりました。最初は人間関係を築くのが大変でしたが、毎日の生活の中で、段々と私のことを認識してくれるようになります。それがとても嬉しかったです」

柴さんのある一日 (*実際の勤務にはローテーションがあります)

●出社(9:00~9:30)

事務所に着いたら、一日の流れと、訪問する利用者さんの連絡事項等を確認します。今日の訪問は4軒。「自転車で行つります！」

●訪問(1軒目、9:30~12:00)

訪問時間や援助内容は、一人ひとり違います。入浴介助のあと通院の介助も行いました。「歩行のふらつきもなく、ほっとしました」

●訪問(2軒目、12:30~13:30)

2軒目のお宅訪問では、お昼ごはんの食事介助を行いました。声をかけると笑顔が見られ、「とても嬉しくなりました」

●昼食・休憩(14:00~15:00)

少し遅めの昼食です。できるだけお昼ごはんは事務所でとり、訪問時の状況の報告がてら、他のスタッフと会話をしながら食べます。

●事務作業(15:00~16:00)

訪問だけでなく、事務所内の仕事も他のスタッフと一緒に行います。記録の整理や報告書など、書類をまとめています。

●訪問(3軒目、16:15~16:45)

排泄介助とオムツの交換で訪問する利用者さんが支援対象です。皮膚にトラブルや変わった様子がないか、注意して見てきます。「何も異常がなくて、なによりでした」

●訪問(4軒目、17:00~18:00)

昼に訪問したお宅の再訪です。同じ家を一日に数回訪問する場合も珍しくありません。仕事は、排泄介助と夕食の介助。「飲み込みがよく、食欲もあるようで安心しました」

●事務所(18:00~)

今日の訪問介護はすべて終了です。一度事務所に戻り、書類などの整理をしてから帰宅します。



を新しくしたのです。

しかし、大学時代に福祉を学んだことはいいえ、福祉現場に実際に立つののは、初めてのことです。



2011年4月、これから時代を展望した新しい「マナの家」がオープンの予定。

「福祉現場の実態」と合ったサービスを
資格を取得しました。

山崎さんが38歳の時でした。その時に抱いたのは「これでいいのか」という、福祉の法制度に対する矛盾。福祉の専門性を深める必要性を痛感した山崎さんは、プロを目指して、社会福祉士の国家

の制度を利用すれば自分ができないものの受け皿を用意する」ことが牧師として自分に課せられた使命だと直感しこれまでに前例のない新しい共同生活

の家、「からし種の家」の開設に着手しました。

1998年、任意団体としての「からし種の家」は医師・弁護士・社会福祉士からの協力を得て、「契約書」や「遺言書」、

「財産管理の契約書」や「家族に準ずる者としての合意書」などを作成したうた一人の利用者のターミナルケアを引き受けたための家としてスタートしたのです。

セーフトイネントとして残すしげがでも
も「マナの家」と名を変え、制度の各間の
セーフトイネントとして「残すしげがでも
ました」

しかし、公的な補助を受けることがで
きない「マナの家」には、運営資金を中心
とするさまざまな経営上の課題があり、
施設を続けるのが困難になってしまった
のです。利用者さんが、「その入りしく最
期まで安心して暮らし続ける」とかがで
きる場所を用意する、どうり、そんなシ
ンブルな願いを叶わないとどう應
じた」と

サービスがなければ自分で創る
新しい解決策を探して福祉を実践

「支援を必要としている人たちのため
に、社会のさまざまな制度のことを熟知
しなければならない」と悟りました。そん

な時、市の助成事業で、日本社会事業大学の恩師を講演会に招くことの機会に恵まれました」

それをきっかけに、山崎さんは再び、日本社会事業大学の大学院で地域福祉を学ぶことになりました。

大学院で学び直すことで、山崎さんは公私協働の新しい一つのモデルがよくやく見えてきました。大学院の指導教員

身体的・精神的などの理由から、日當生活がうまく送れないお年寄りが増えております。そうした高齢者が入居する施設として「老人ホーム」がありますが、ひと口に老人ホームと言つても、実にさまざまな種類があります。

それでは、お年寄りに優しい施設を分かりやすく見ていきます。似ている名前のものは、一部正式名の後にカッコ

一方、「**軽費老人ホーム**」は、高齢者自らが進んで入所します。給食がある「**A型**」、自炊を行つ「**B型**」、さらに、発展型として、在宅サービスで介護が受けられるタイプの「**ケアハウス**」と呼ばれる施設もあります。

「**有料老人ホーム**」はよく知られていますが、その種類は多岐にわたります。例えば、「**建表型**」は名前通り建表によく人

（介護療養型老人保健施設（療養型））と（介護療養型医療施設（療養病床））は、医療サービスを充実させた療養のための施設です。後者は病院などに隣接することが多かったのですが、2012年3月末で廃止されることとなつて、それ以降は、前者に統合される予定です。

また、最近よく耳にする「グループホーム」は、数人で共同生活を送るものの、家庭的な雰囲気を取り入れることで認知症の進行を穏やかにするねらいがあります。

以上今まで見ってきた介護施設とは別に、養護施設は、家族からの虐待やホームレスなど、介護以外の理由で家にいることができないお年寄りが対象です。

「養護老人ホーム」は、緊急に養護が必要なお年寄り向けの施設で、自らで

【特別養護老人ホーム】
は介護を受けながら生活できる施設です。自宅介護が困難な高齢者が対象のため、長期間の利用が中心で、重度の方から優先的に入所できます。

一方、「介護老人保健施設」(ろうけん)
は、リハビリテーションを受けて在宅復帰を目指すお年寄りを対象にしています。そのため、入居期間は数ヶ月が標準とされています。

一方、「**軽費老人ホーム**」は、高齢者自らが進んで入所します。給食がある「**A型**」、自炊を行つ「**B型**」、さらに、発展型として在宅サービスで介護が受けられるタイプの「**ケアハウス**」と呼ばれる施設もあります。

「**有料老人ホーム**」はよく知られていますが、その種類は多岐にわたります。例えば、「**健康型**」は名称通り健康な人だけが入居できる施設ですが、介護が



ここまで見てきた介護施設とは別に、養護施設は、家族からの虐待やホームレスなど、介護以外の理由で家にいることができないお年寄りが対象です。

「介護療養型老人保健施設（療養型）」と「介護療養型医療施設（療養病床）」は、医療サービスを充実させた療養のための施設です。後者は病院などに隣接することが多かったのですが、2012年3月末で廃止されることとなっていました。それ以後は、前者で認知症の進行を穏やかにするねらいがあります。

「特別養護老人ホーム」とよくいはれ
るは介護を受けながら生活できる施設
です。自宅介護が困難な高齢者が対象の
ため、長期間の利用が中心で、重度の
方から優先的に入所できます。

一方、「介護老人保健施設」(ろうじ
ん)は、リハビリテーションを受けて在
宅復帰を目指すお年寄りを対象にして
います。そのため、入居期間は数ヶ月が
標準とされています。

「介護療養型老人保健施設(療養型
ろうけん)」と「介護療養型医療施設
(療養病床)」は、医療サービスを充実さ
せた療養のための施設です。後者は病

身体的・精神的な理由から、日常生活がうまく送れないお年寄りが増えております。そうした高齢者が入居する施設として「老人ホーム」がありますが、ひと口に老人ホームと言つても、実にさまざまなもの種類があります。

それでは、お年寄りに優しい施設を分かりやすく見ていきます。似ている名前のものは、一部、正式名の後にカッコ書きで通称を付記しております。

ニュース & テレビ